

利根運河大師の解説(大青田コース)

| 道順番 | 札番所 | 師守 | 四国霊場 | 由来など |
|-----|-----|----|---------|--------------------------|
| 1 | 46番 | 寺嶋 | 伊予・浄瑠璃寺 | 建立者・大青田講中 |
| 2 | 27番 | 寺嶋 | 土佐・神峰寺 | 建立者・大青田講中 27番と刻まれた石柱 円福寺 |
| 3 | 20番 | 寺嶋 | 阿波・鶴林寺 | 建立者・大青田講中 20番の標柱 円福寺 |
| 4 | 75番 | 寺嶋 | 讃岐・善通寺 | 建立者・大青田講中 75番の標柱 |

4体とも建立者に大青田講中とあるので、利根運河大師設置に当たって大青田村で大師講を組織して大師を祀り、利根運河大師八十八か所霊場巡礼を行っていたと思われる。

大青田コースの見どころ

1, 大黒天道標 馬場若者講 文政3年

正面右・流山道 正面左・布施成田道 みつかいど 側面右・此方いまがみ 側面左・此方ながれやま
謎 流山道が右方向と左方向に刻まれているのはなぜか。

2, 成田山講道標 安政4年

正面・ながれやま江のみち 右・阿びこなりたみち 左・山さ記のこみち

3, 妙見山円福寺

真言宗豊山派、名都借清瀧院の末寺、本尊・不動明王、創建・天正元年(1573)2月15日、現在無住職。かつては本堂奥にある妙見神社の別当寺であった。本堂は明治初期の建築で柱は全部銀杏の木。観音堂(十一面観音)・下総三十三観音札所。石物は道祖神、岩見大権現、記念碑など多数。

4, 妙見神社

創建・元禄9年、祭神・天之御中主神。北極星は宇宙を支配する星として信仰され、仏教に取り入れられて妙見菩薩となった。千葉氏が一族の守り神とした。円福寺墓地にある「旧墓地改修記念碑」には「昔、上総介平忠常の乱のとき源頼信がこの地を本陣として賊を滅ぼした。千葉介常胤は頼信の武威を祀るためわが家の妙見菩薩をここに安置した。その後、奥州征伐の祈願に妙見神社に立ち寄った頼朝公に、拝殿で閲見したという説話がある」とある。

5, 大青田貝層

古くは20~30万年前の地層からなり東西150mにも及ぶ貝層。貝層は3層からなり285cm以上もある。調査時には磯の香がしたという。谷津と言われる一帯は縄文時代には古東京湾の入り江であった。

6, 東深井古墳群

かつては19基が確認されたが現存は13基。6世紀後半から7世紀初めにかけて連続して造られた。前方後円墳1基のほかは円墳。人物埴輪や円筒など多数が出土した。中でも魚形埴輪は珍しく、千葉では東深井、芝山、成田ほか4例。鮭の形から当時鮭が付近に遡上していたと考えられる。鶏の埴輪は埋葬者に朝を知らせる意味が込められていた。